

地方公共団体	岡山県瀬戸内市
所在地	岡山県瀬戸内市邑久町尾張300番地1(瀬戸内市役所)
地域循環共生圏を活用して目指す地域の姿	瀬戸内市では、令和3年度に第3次総合計画を策定、瀬戸内市企画振興課内にSDGs推進室を設置するとともに、県立邑久高校及び環境学習センター「アスエコ」と連携して「瀬戸内市オリジナルSDGsカードゲーム」に取り組み、瀬戸内市の魅力と課題をカード化して出前授業に使えるよう整備を行うなど、ネットワークの形成に向けた機運が高まっている。そうした状況を踏まえ、瀬戸内市に関わる市内外の関係者が連携し、地域の課題に向き合い、ありたい未来に近づくために語り合う場が構築されている地域、またそのネットワークを生かしながら、地域の関係者それぞれが得意分野を持ち寄り、自らの力で地域課題を解決する自立・分散型の地域を目指す。
地域の現状・課題	瀬戸内市は瀬戸内海国立公園に指定されている多島美や田園地帯など豊かな自然と、県都岡山市と隣接する都市近郊型の住環境により形成されている。また、古くから開けたまちとして栄え、貴重な歴史・文化資源を有している。一方で、瀬戸内市を取り巻く環境は、人口減少と出生率の低下、農業者の高齢化による耕作放棄地の増加、エネルギー代金の域外流出など多くの課題が山積しており、総合計画、地方創生、SDGsの一体的取組による課題解決が求められている。
地域が持つ資源	<ul style="list-style-type: none"> ・瀬戸内Kirei太陽光発電所(日本最大級のメガソーラー)を活かしたまちづくり ・長島(ハンセン病療養所)の世界遺産登録に向けた活動 ・魅力ある観光、歴史、文化資源 ・自然環境、温暖な気候、災害の少なさ等がもたらす住環境の良さ ・県立邑久高校と「瀬戸内市オリジナルSDGsカードゲーム」
取組内容	「瀬戸内市オリジナルSDGsカードゲーム」を活用した社会教育と学校教育の連携及び将来の担い手の育成
地域循環共生圏を 実践することで想定 される効果(変化)	<p>(環境) 子ども達がグローバルとローカルをSDGsの視点を融合することで地域のエネルギー問題等を理解し、高校生や社会人、企業など様々なステークホルダーと連携する機会が醸成される。</p> <p>(経済) 将来の担い手としての就労人口、関係人口の増加につながる。また、地域資源を活用した地域産業や観光産業が活性化することで経済の好循環が生まれる。</p> <p>(社会) 社会教育と学校教育を連携することにより、地域社会の課題について子どものときから自分事化できる人材を育成し、将来の担い手としての人材育成につなげる。</p>